

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

⑫ 公開特許公報(A) 平4-176460

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)6月24日

A 61 G 7/05
A 47 G 9/02
A 61 F 13/15
13/54
13/66

P 6908-3K

9163-4C A 61 G 7/04
8118-3B A 41 B 13/02
8118-3B
8118-3B 13/08

E
P
H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全9頁)

⑮ 発明の名称 床づれ防止の紙布加工品

⑯ 特 願 平2-306634

⑰ 出 願 平2(1990)11月13日

⑱ 発 明 者 田 中 友 爾 大阪府豊中市宝山町19番8号

⑲ 出 願 人 田 中 友 爾 大阪府豊中市宝山町19番8号

明 細 書

1) 発明の名称

床づれ防止の紙布加工品

2) 特許請求の範囲

従来記載の如く、布又は紙、皮革紙やプラスチック製から成る、フロアフィルムの紙や紙布の加工した平板やこれを更に加工して作られたオシメカバー、布紙や皮革混合紙、フィルムに、ハトムギ茶や、サボニンは藍染して塗着乾燥し、バニリン、松皮酸、アルデヒド、ペンツアルデヒド、アルデヒド類液を噴射し、表面性とし、加工紙、フィルムと別に、藍染した布紙、フィルム面に有機酸に溶解したサリチン、サリチン酸と他の接着剤と混合して塗着乾燥せしめ、表面に生糊片や、生糊粉や生糊を熱湯に浸漬して、発取する時に得られるサリチン、セリシエン、セリシエン酸、アムパラジン類含有の浸漬液を噴霧又は散布して、皮膜を作つ、この布紙やフィルムを乾燥後、オシメとして、多層合し、布、オシメカバーに被

覆して、積合し、産品を老人や、同病人や幼児、種病人に起る、局部の皮膚障害による床づれと、予防する事と、特徴とする床づれ防止の加工品

3) 発明の詳細な説明

この発明は、生糊の両面が果作、主とする時に、吹出す時に、ファイブロインニ重炭酸と固く結合する、セリシエンとセリシエン酸、アムパラジン酸等、アミノ酸と蛋白分解酵素と利用し、これをオシメカバー、内面、オシメ布紙やフィルム面に、この生糊の酸と、切断し、水に軽く浸潤後、乾燥したと、ロールで圧延し、厚延した、生糊酸を切断して、断片加工し、又は更に粉砕機に掛つて、粉末化したと、又は、低温乾燥して、前記布紙、フィルム面に、生糊を塗布した、表面性接着剤膜面に、塗着剤を散布して、接着せしめ、乾燥した布紙、フィルムに、藍染した紙布や、ハトムギ茶、サボニンを藍染して、塗着乾燥した紙布、フィルムを被せ、オシメとして加工し、更にこれをオシメカバーに被せ、

紙と木し(4)は王前細片と皮膚に接する初め塗着
 し藍色系を塗布した紙とセリン含浸紙と塗
 われたオムツで包んだ結果が(4)は王前
 の粉木と藍色系を使用した(1)と木し(1)は
 藍色系紙のみを木し、(4)は、一般の紙オムツ
 を木したものである。これは、紙オムツのみと幼児
 の皮膚炎程度を、20人と対照としたところであ
 る。これは細片と布地にそれぞれ5%に塗布した。

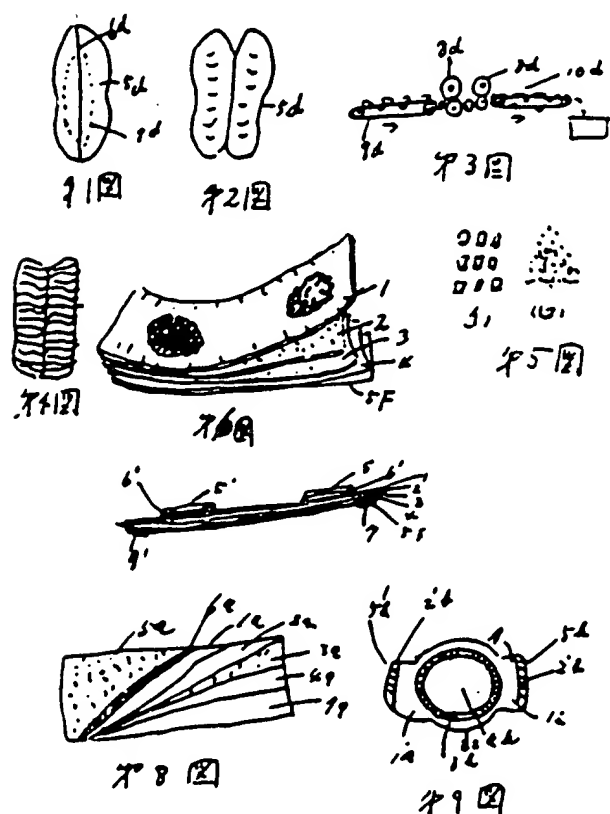
以上の様に、この全明の試験は、公知の紙オムツ
 や、スエーデン布地を使用したオムツを使用した
 病に多い老人や、病人の幼児が多く、床ずれに
 なり易く、特に、6月から、9月頃に、多く発生する
 9月、皮膚炎による要因は、通気性が悪く、常に湿
 度の高い、狭い、陰性菌の繁殖による傷害が
 多い。この為、本発明によつて、皮膚炎とならな
 くなる。皮膚炎に保護被膜を形成する。セリン
 含浸の王前細片や、粉木を、皮膚面に接触せ
 しめて、被膜を形成せしめ、様に、オムツにラミネ
 ートして皮膚面と直接する尻部面の位置と
 して、オムツ面に皮膚に接する初め塗着せしめ

2. 接着セシカク年によつて、床がれや床ずれ防止、行小
 がこみと更に、有効性と高ゆゑに、抗菌性や薬性
 素と併用し、又、セリシンと同様に、人工被膜形成
 に役立つ、キケン、キトサン液と、セリシン液とを併
 用して、床がれや皮膚炎の保護被膜形成を促進
 セしめ被膜形成後は、安定化するに、抗菌性やア
 ルギニド類と、ポリビニール環化樹脂とを併
 用する事によつて、アルギニン酸ソーダカール
 ケン接着剤の安定化を計り、又、紙スリツに使用
 する、吸水剤の悪臭を防ぐに、ニ酸化塩素とニ酸化
 銅とを併用する。脱臭とグラム陰性菌や陽性菌
 への菌の増殖を抑え、皮膚炎の要因を抑制した
 オキシ布紙を、併用した。吸水剤による、嫌臭
 化菌の発生を抑え、香油によつて、刺激性と過敏
 性を抑えるに、布化樹脂バスターと生菌粘糸に混
 合して、撥水性を高ゆゑ、様にした。各クビある。
 又、生糸と、紙糸加工する時に、生ずる熱湯焼液と
 セリシン液とを併用して、回収して、布化又は、ハンツ
 クス、敷布に塗着して、床がれ防止、行小、破れ
 する時は、使え糸スミス等の使用回数と洗濯毎

に利用出来るので、セリニニ液や、セリンシヤト
サン、ヤタン液と、併用して噴霧する事に、よつてお
皮膚炎の予防に効果があり、蛋白分解酵素が、
不溶性の酵素、アミノ酸を混入液加へ、皮膚の固
硬に役立つ。産業上衛生上有用な発明である。

4) 同面ノ簡平ニ説明

第1図は主面の正面図、第2図は、主面を分割した平面図、第3図は、圧延工程図、第4図は、主面をスルメ状に圧延した平板の正面図、第5図は主面の細片の側面図、同図のほ、主面粉末の側面図、第6図は、床ボルト防積層シームの斜正面図、第7図は、主面の側面図、第8図は、主面粉末散布装置の正面図、第9図は、散布装置の正面図、第10図は、床ボルト位置を示す側面図、第11図は、パンツ布の正面図、第12図は、シームホルダの正面図、第13図は、散布の正面図、第14図は、碎粒



人 類 出 野 時

田中友商也

手続補正書

平成 3 年 3 月 1 日

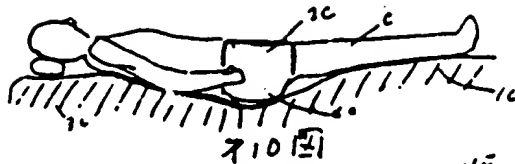


図10



図11



図12

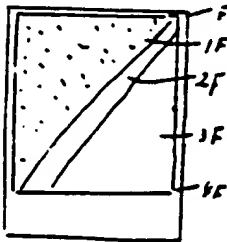
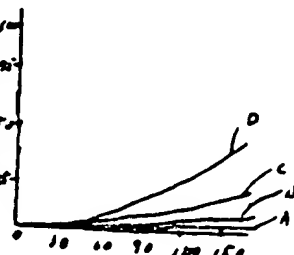


図13



日数
図14

特許代理人 吉田 文毅 殿

- 1 事件の表示 平成2年特許願第306634号
- 2 発明の名称 床ずれ防止の紙布加工品
- 3 補正をする者

事件との関係 本人

住所(居所) 大阪府豊中市宝山町1番8号

氏名(名称) 田中 友南

4 補正命令の日附 平成3年2月12日

5 補正の対象 明細書 図面

6 補正の内容 訂改通り

訂改通り



内容 (平成2年特許願第306634号)
平成2年3月1日

- ① 明細書13頁20行「図10」を「図11」に訂正した。
- ② 同上14頁2行「図10」を「図11」に訂正した。
- ③ 同上14頁16行「図10」を「図11」に訂正した。
- ④ 同上15頁13行「図10」を「図11」に訂正した。
- ⑤ 同上15頁27行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑥ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑦ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑧ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑨ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑩ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑪ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑫ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑬ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑭ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑮ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑯ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑰ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑱ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑲ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。
- ⑳ 同上15頁33行「図12」を「図13」に訂正した。

- ① 明細書17頁2行「図10」を「図11」に訂正した。
- ② 同上17頁6行「図10」を「図11」に訂正した。
- ③ 同上21頁1行～17行「図10」を「図11」に訂正した。
- ④ 同上21頁1行～17行「図10」を「図11」に訂正した。
- ⑤ 同上21頁1行～17行「図10」を「図11」に訂正した。

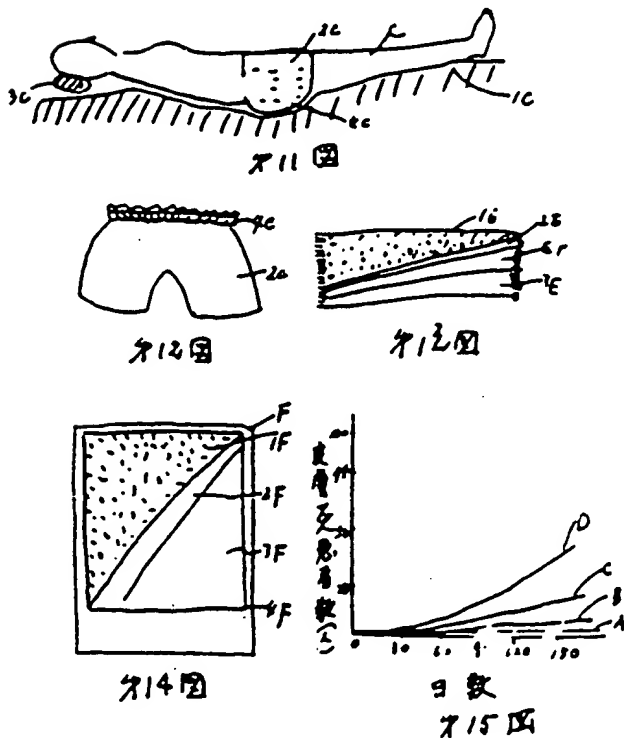
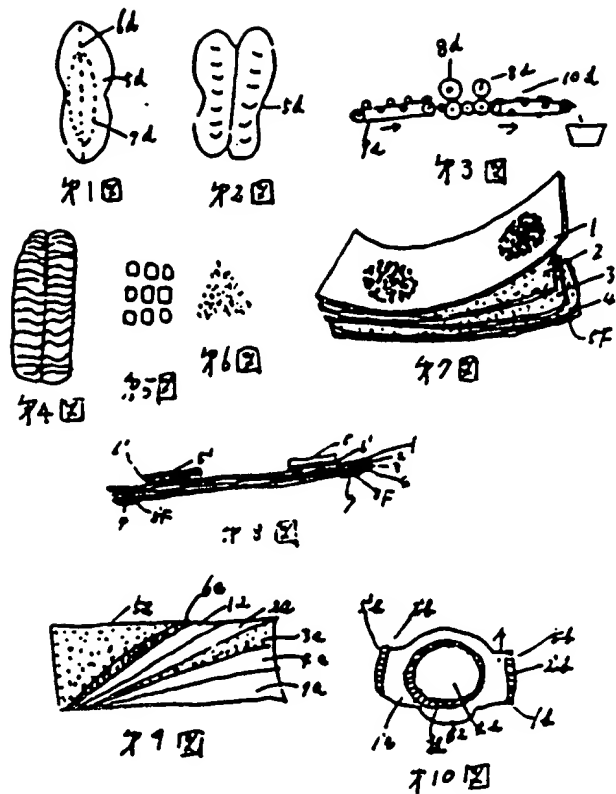
特許代理人
田中 友南

に別出する。セリシン液、セリシン、サトフ
ン、オキナン液を布紙に噴霧することによって、皮膚
炎の予防に効果があり、蛋白分解酵素リポオキシ
ゲナーゼ、アミラーゼ、侵入菌は浸透性を高めるの
で皮膚の回復に役立つ。産業上、衛生上、有用な発
明である。

図面の簡単な説明

第1図は生菌の正面図、第2図は生菌を分割した
平面図、第3図は圧延工程図、第4図は生菌のスレ
ミ状に圧延した平板の正面図、第5図は生菌の細
片の側面図、第6図は生菌粉の側面図、第7図は
床ずれ予防装置のオシロイ斜正面図、第8図はそ
の側面図、第9図は生菌粉を散布せしめた褥
層布の正面図、第10図は紙オムスカバーの正
面図、第11図は床ずれ位置を示す側面図、第12
図はパンツ布の上面図、第13図はオシロイの
上面図、第14図は敷布の正面図、第15図はそ
の特性（皮膚炎にかかる日数）。

特許出願人
田中反商



手続補正書

平成4年4月

特許庁長官 田中反商 殿

- 1 事件の表示 平成2年特許出願第306674号
- 2 全明の各符 添った符上、紙布の位置
- 3 補正をする者

事件との関係 特許出願人
住所(居所) 大阪府豊中市安山町19番8号
氏名(名称) 田中反商

- 4 補正命令の日附 平成2年11月13日
- 5 補正の対象 明細書
- 6 補正の内容 新紙の通。



内 容

(特開平4-706614号)
平成4年4月24日

① 明細書7頁11行「ある。」とあるを「ある。又商を塩化カルシウムに加熱して溶解し、アルギニン酸ソーダで凝固し又は電解凝膜して所分離したものを全所にて固定化したものを含有

② 全上13頁4行「ある。」とあるを「例へば商を塩化カルシウム、同イグネシウム液を溶かしたものと、乳酸を凝膜凝固し又は電解凝膜して、脱カルシウムや脱イグネシウムを行つたものや、大豆食品をアルギニンで凝固せしめた紙布を精製したものを使用して、

③ 全上14頁20行「ある。」とあるを「ある。又全商を系中に、セリシンその他エーミ溶媒に、皂類を除去し、精製した生商を塩化カルシウム、同イグネシウム液で溶解したものと、電解凝膜して、過剰塩を除去し、又は、乳酸、その他酸で脱カルシウム同イグネシウムしたものを紙布に塗布し、アルギニン酸ソーダ、大豆食品、他動物食品、アルギン酸で凝固せしめて精製せしめたものを使用して、」に訂正します

④ 全上15頁、19「ある。」とあるを「紙布や生商、乳酸と塩化カルシウム、塩化イグネシウムを溶かした液を塗布した紙布や電解精製した液を塗布した紙布を」に訂正します。

特許出願人
田中友蘭 印